

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20756
事業名	道路橋りょう等補修費					
評価担当課	所属名	建)土木部 道路維持課				
	課長名	石川 英俊	担当者名	若林 裕也	電話番号	011-211-2632
施策名	主	都市基盤の維持・保全と防災力の強化				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	道路利用者の安全・安心を確保するため、定期点検結果等に基づき、補修を実施する。			
		長期	「札幌市幹線道路等舗装補修計画」等の各種道路施設別補修計画に基づき、ライフサイクルコストの最小化や事業の標準化等を実施して、計画的、効率的な維持管理を行う。			
	取組内容	道路利用者の安全・安心を確保するために、「札幌市幹線道路等舗装補修計画」(平成24年3月策定、平成30年3月改定)等の各種道路施設別補修計画に基づき、舗装・トンネル等といった各種道路施設の補修を計画的に実施する。				
	実施結果	令和3年度実績 幹線道路オーバーレイ:10km 補助幹線道路オーバーレイ:16.1km 生活道路補修:1.4km 歩道補修:1.5km トンネル補修:3施設 横断歩道橋補修:1施設 アンダーパス等補修:2施設				
事業実施における工夫点	「傷んでから直す」といった対症療法型の維持管理だけでなく、「傷みがまだ軽微な段階から補修し、できるだけ長く使い続ける」といった予防保全型の維持管理手法を導入している。					
対象者	市民及び道路利用者	開始	平成21年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	道路法					
他都市の状況	全国的に行われている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	4,192,819	3,311,669	3,337,168	3,301,000	
うち特定財源	3,012,014	2,748,400	1,823,232	2,679,000	
人工	15.4	14.2	14.2	14.4	
人件費	110,880	102,240	102,240	103,680	
計(事業費+人件費)	4,303,699	3,413,909	3,439,408	3,404,680	
事業費の内訳	令和3年度決算	補修工事費 3,036,028千円、補修業務費 245,946千円、その他 55,194千円			
	令和4年度予算	補修工事費 3,058,400千円、補修業務費 216,100千円、その他 26,500千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	幹線・補助幹線舗装補修延長(累計)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	229km	255km	255km	293km	
	指標名				
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標1					
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	各種道路施設について、計画的に補修を実施することで、道路利用者の安全・安心を確保している。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	国や他自治体と同様に、最新の定期点検結果に基づく補修計画の見直しを適宜行いながら、これに基づく補修を実施することで道路利用者の安全・安心を確保している。予防保全型の維持管理を行っていくために、引続き計画的に補修を行っていく必要がある。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	定期点検や日常パトロール結果等に基づき、補修の必要な箇所を道路種別や補修規模、さらに緊急性等を加味して、各種道路施設の効率的・効果的な補修の実施に努めている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	定期点検や日常パトロール結果等に基づく各種道路施設の補修を着実に実施することで、道路利用者の安全・安心を確保している。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	計画に基づく補修を着実に実施していくため、予算の確保に努める。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	幹線・補助幹線に係る現舗装補修計画を改定し、さらに生活道路等の小規模道路舗装補修の在り方を加えた、新たな舗装補修計画による維持管理手法を検討中。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	計画的に補修を実施し、道路利用者の安全・安心を確保している。予防保全型の維持管理を行っていくために、引続き計画的に補修を行っていく。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 計画に基づく補修を着実に実施していく。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 計画に基づき、予防保全型の維持管理を着実に実施していくため、予算を拡充する必要がある。		見直し効果額	0